

キーワード：基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

# 学力向上へ向けた取り組み 函館市立えさん小学校

## 1 課題

・基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着

## 2 課題解決の具体策

個に応じた指導の充実  
読書活動の推進  
家庭学習の習慣化

## 3 取り組みの概要

個に応じた指導の充実（TTの活用・補充学習）

課題に応じた放課後等の補充学習・長期休業中の補充学習

TTの活用（本年度より3、4年生の算数でTT体制を組んでいる）

- ・一斉授業の中で支援の必要な子には、ヒントカードを出したり、個別支援を行っている。
- また、問題演習等では、より多くの問題に取り組んだり発展問題に挑戦できるよう補充プリントを準備しておき、45分授業の最後まで意欲的に学習に取り組めるよう工夫している。
- ・多くの友達のを参考にしたたり、友達との関わりを大切にしたり、みんなで意見交換したりする場合には、TT指導や等質少人数指導ですすめている。
- ・子どもたち一人一人の計算力を高めるような場合には習熟を加味したコース選択学習を行うことで、子どもたち一人一人の学習意欲を高め、効果的に学習をすすめている。

読書活動の推進

- ・朝読書の時間の設定
- ・読み聞かせボランティア
- ・図書室の整備
- ・読書感想文コンクールなどへの積極的な参加

個に応じた家庭学習の充実(目的・目安時間・内容・方法)

- ・家庭学習の方法について、年度当初に保護者にプリントを配布し内容などを知らせるとともに家庭の協力をお願いしている。
- ・家庭学習が習慣化するよう励ましたり、内容を学級で紹介したりしている。

## 4 成果と課題（ 成果 課題 ）

補充学習により、一人ひとりのペースに応じた課題解決ができ、学習内容の定着が見られた。

TT体制を組んだことで、個に応じた指導が充実し、学習意欲や定着率の向上につながっている。

図書室の利用者が増えたり、作文や感想文などの各種コンクールへの応募が活発となるなど、読書や作文への意欲が高まってきた。

宿題だけでなく自主的な家庭学習にも取り組む子が増えてきており、家庭における学習習慣の定着が見られる。

効果的なTT体制および少人数指導の体制について計画的に実践していく必要がある。また、子ども自身がTT体制をどのように感じているかを把握したり、学習につまずきがちな子どもや遅れがちだった子どもの反応や学習の変化に注目したりして、指導と評価の改善を図り、保護者に対しても折に触れて、少人数指導の成果や結果についてもできるだけ具体的に伝えるようにしていきたい。また、習熟度を加味して少人数に分けたときに子どもたちに劣等感を起こさせることなく、個に応じた指導を工夫し、一人一人の子どもの学力を高めていきたい。

家庭学習の取り組みには、まだ、学年差個人差があり、家庭学習の方法については、年度当初の確認にとどまらず、折に触れて学級で指導していく必要がある。また、高学年においては、予習に取り組ませることで、家庭学習と授業が効果的につながっていくような工夫をしていきたい。